

令和6年度版 献血のあゆみ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

三重県赤十字血液センター

はじめに

“見返り阿弥陀”のころと“献血”のころ

三重大学医学部附属病院脳神経外科を経て、三重県赤十字血液センター所長に就任し、3年が経過いたしました。この3年間、献血者の皆様をはじめ、血液事業に関わる多くの方々のご理解とご協力により、数多くの命をつなぎ、支えることができておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、令和6年度におきましては、三重県内で63,829名の方々に献血のご協力をいただきました。このご支援のおかげで、県内の医療機関へ安定的に血液製剤を供給することができました。

十数年前、京都のあるお寺で「見返り阿弥陀」という仏様にお会いしたことがあります。

優しい顔で首を左後方に向け、慈愛を注ぐそのお姿は、今でも私の記憶に深く残っております。その仏様について、次のように記されていました。

「弱い立場や遅れている人に心を寄せ、目には映らぬ傍らや背後の人にも慈しみの眼差しを向けつつ、自らの行いを省みる。」

当時、私は脳神経外科医として大学病院の最前線で働いておりました。

病院には、脳疾患により意識がなかったり、自らの言葉で思いを伝えることができなかったりする若い患者さんも多く、私はこの仏様のように、そうした患者さんの力強い味方でありたいと強く感じたことを覚えております。

善意の献血をしていただく皆様と、血液製剤を必要とする患者様は、直接顔を合わせることはありませんが、それぞれの傍らには、誰かの命を待つ人がいます。

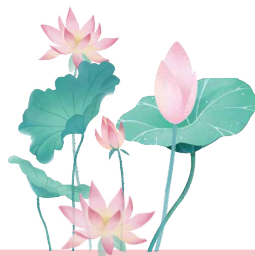
私たちの血液事業は、「いのちをつなぐ」という一人ひとりの温かな善意によって支えられております。その姿はまるで、振り返りながら私たちを見守る「見返り阿弥陀」のようです。

人々の苦しみや痛みに静かに手を差し伸べようとするその心は、赤十字の人道・博愛の理念にも通じるものがあるのではないのでしょうか。

日本赤十字社が掲げる「人間を救うのは、人間だ。」という言葉は、

「人間を救う手段の一つは、あなたの献血です。」と申し上げることができると、私は思っております。

令和7年7月吉日
三重県赤十字血液センター
所長 松原 年生



・はじめに	p. 1
・統計	
三重県の献血状況～献血から供給まで～	p. 2
三重県の献血者数の推移、三重県の輸血用血液製剤供給の推移	p. 3
三重県の年代別献血者数の推移	p. 4
三重県の市町別献血状況	p. 5
三重県の居住地別献血状況	p. 6
・表彰	p. 7
・キャンペーン・イベント等	p. 9
・献血基準と検査成績のお知らせ	p. 11
・沿革	p. 12



三重県の献血状況～献血から供給まで～

受付
68,935人

対R5年度比 98.6%

献血ができなかった人 5,106人

対受付者数 7.4%

献血者数
63,829人

対R5年度比 98.5%

	男性	女性	計	対R5年度比
Hb ^{※1} 不足	688	1,716	2,404	91.7%
その他	1,591	1,111	2,702	110.6%
計	2,279	2,827	5,106	100.8%

献血初回者数 : 3,370人 (対実献血者 11.2%)

実献血者数 : 30,067人 (1年間に献血1回→16,985人、2回→7,503人、3回以上→5,579人)

【県内】延献血者は、献血可能人口の5.7%
実献血者は、献血可能人口の2.7%

(献血可能人口)

住民基本台帳に基づく15歳～69歳人口(令和6年1月1日)から、
令和2年国勢調査人口等基本集計に基づく令和6年の15歳人口を差
引き算出

【全国】延献血者は、献血可能人口の6.2%

種類別献血者数

種 別	全血献血		成分献血			合 計
	200mL	400mL	血漿成分	血小板成分	成分計	
献血者数	248	38,092	16,527	8,962	25,489	63,829
献血構成比	0.4%	59.7%			39.9%	100%
成分構成比※2⇒			64.8%	35.2%		

施設別献血者数

施設 種類	献血バス	血液 センター	四日市 ルーム	伊勢 ルーム	合計	対R5年度比
200mL	0	37	192	19	248	43.0%
400mL	24,575	3,524	6,435	3,558	38,092	102.1%
成分	0	8,021	10,656	6,812	25,489	94.6%
合計	24,575	11,582	17,283	10,389	63,829	98.5%
対R5年度比	102.8%	103.7%	95.2%	89.6%	98.5%	

成分内訳	血漿成分	5,328	7,008	4,191
	血小板成分	2,693	3,648	2,621
	計	8,021	10,656	6,812

検査

検査不合格者 891人 (献血者数の1.4%)

転用・廃棄等

検査不合格内訳^{※3}

梅毒抗体	H B s 抗原	H B c 抗体	H C V 抗体	ALT	不規則抗体	その他
39	16	69	19	511	23	222

製剤

原料血漿

原料血漿送付内訳

血漿製剤	合計
目標量(%)	16,517
送付量(%)約	18,339
達成率	111.0%

血液製剤内訳(200mL換算)^{※4}

製剤種類	供給単位	対R5年度比
赤血球製剤	60,889	99.9%
血漿製剤	22,067	117.6%
血小板製剤	93,477	97.5%
合計	176,433	100.5%
(県内供給)		

供給
(県内)
176,433単位

対R5年度比 100.5%

※1 Hbとは血色素量のことをいう。

※2 成分構成比は端数処理しているため、合計が必ずしも100%にはならない。

※3 複数項目該当者あり。

※4 H29年度から血漿製剤の単位換算は、FFP-LR120を1単位、FFP-LR240を2単位、FFP-LR480を4単位として算出。

三重県の献血者数の推移

年度 種類(人)	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
200mL献血	151	170	510	487	558	727	709	679	577	248
400mL献血	34,340	32,836	32,054	33,315	34,235	35,362	36,432	36,971	37,307	38,092
成分献血	19,068	23,126	23,244	22,556	23,599	27,903	28,000	26,723	26,946	25,489
合計	53,559	56,132	55,808	56,358	58,392	63,992	65,141	64,373	64,830	63,829



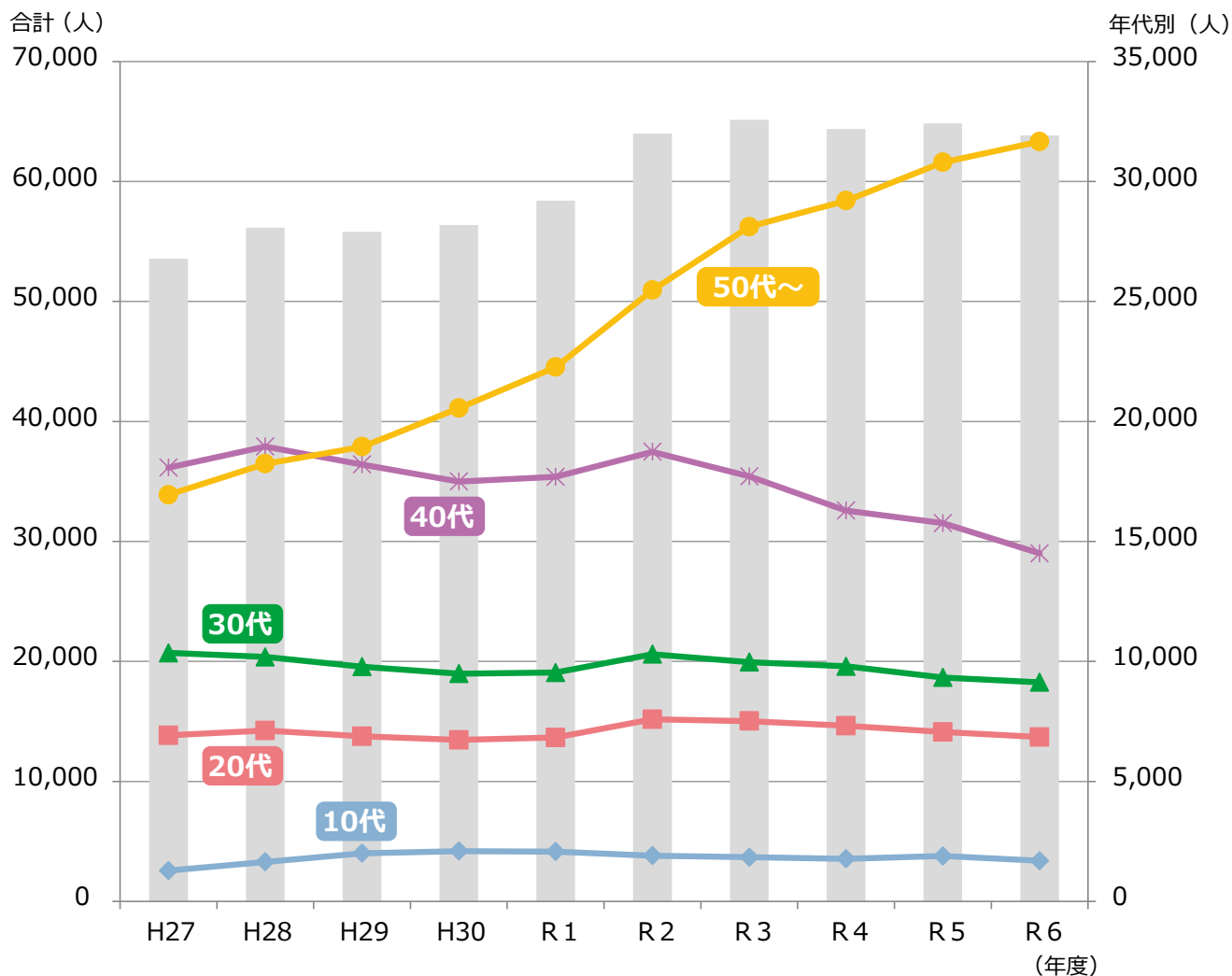
三重県の輸血用血液製剤供給の推移

年度 種類(単位)	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
赤血球製剤	60,898	60,010	61,401	61,173	61,734	61,931	60,529	60,999	60,955	60,889
血漿製剤	31,878	33,420	23,171	24,563	26,304	21,347	17,285	18,850	18,765	22,067
血小板製剤	90,340	89,075	95,165	91,295	98,920	90,435	87,115	95,485	95,890	93,477
合計	183,116	182,505	179,737	177,031	186,958	173,713	164,929	175,334	175,610	176,433



三重県の年代別献血者数の推移

年度 年代	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
16-19歳	1,278	1,646	2,005	2,095	2,077	1,907	1,839	1,776	1,889	1,690
20-29歳	6,916	7,116	6,876	6,729	6,827	7,586	7,511	7,317	7,055	6,847
30-39歳	10,352	10,183	9,778	9,489	9,534	10,297	9,968	9,796	9,329	9,128
40-49歳	18,074	18,952	18,204	17,494	17,691	18,733	17,709	16,287	15,760	14,504
50-69歳	16,939	18,235	18,945	20,551	22,263	25,469	28,114	29,197	30,797	31,660
合計	53,559	56,132	55,808	56,358	58,392	63,992	65,141	64,373	64,830	63,829



少子高齢社会を迎えて

輸血用血液製剤や血漿分画製剤の多くは高齢者の医療に使われており、特に全国的にも輸血用血液製剤を使用されている方の多くが50歳以上の方々です。

一方で、献血にご協力いただいている方々は50代の割合が高く、この世代が輸血医療を大きく支えている状況です。

10～40代の献血者数は減少傾向にあります。日本の少子高齢化が今後ますます進んでいくと、将来の安定供給を維持することが困難になるおそれがあります。

今後も医療機関に安定的に血液を供給するためには、特に若い世代の献血へのご理解とご協力が不可欠になっています。

三重県の市町別献血状況

【献血バス】

市町名		400mL 献血者数	稼働数※	1 稼働あたりの 献血者数	対 R 5 年度比 献血数
桑名市		1,837	42.7	43.0	107.4%
いなべ市		965	20.7	46.6	107.7%
桑名郡	木曽岬町	74	1.6	46.3	125.4%
員分郡	東員町	468	9.1	51.4	113.0%
三重郡	菰野町	371	8.6	43.1	109.8%
	朝日町	116	2.8	41.4	141.5%
	川越町	262	6.3	41.6	118.0%
桑名保健所管内		4,093	91.8	44.6	110.0%
四日市市		3,046	71.9	42.4	96.8%
四日市市保健所管内		3,046	71.9	42.4	96.8%
鈴鹿市		4,204	90.9	46.2	116.0%
亀山市		620	15.4	40.3	103.7%
鈴鹿保健所管内		4,824	106.3	45.4	114.3%
津市		3,978	91.0	43.7	94.5%
津保健所管内		3,978	91.0	43.7	94.5%
松阪市		2,257	48.9	46.2	98.5%
多気郡	多気町	145	3.6	40.3	91.2%
	明和町	294	6.5	45.2	88.8%
	大台町	123	2.2	55.9	90.4%
松阪保健所管内		2,819	61.2	46.1	96.6%
伊勢市		1,279	31.3	40.9	118.0%
鳥羽市		216	5.4	40.0	163.6%
志摩市		431	9.0	47.9	97.7%
度会郡	玉城町	489	9.0	54.3	104.9%
	度会町	54	1.3	41.5	120.0%
	南伊勢町	91	3.0	30.3	89.2%
	大紀町	44	0.8	55.0	112.8%
伊勢保健所管内		2,604	59.8	43.5	112.8%
伊賀市		1,935	48.0	40.3	93.1%
名張市		552	13.0	42.5	88.5%
伊賀保健所管内		2,487	61.0	40.8	92.0%
尾鷲市		158	5.0	31.6	84.9%
北牟婁郡	紀北町	102	2.0	51.0	105.2%
尾鷲保健所管内		260	7.0	37.1	91.9%
熊野市		279	5.0	55.8	114.3%
南牟婁郡	御浜町	94	2.0	47.0	127.0%
	紀宝町	91	2.0	45.5	115.2%
熊野保健所管内		464	9.0	51.6	116.9%
献血バス 計		24,575	559.0	44.0	102.8%

【献血ルーム】

	献血者数				稼働数※	1 稼働あたりの 献血者数	対 R 5 年度比 献血数
	200mL	400mL	成分	計			
血液センター	37	3,524	8,021	11,582	305	38.0	103.7%
四日市献血ルーム	192	6,435	10,656	17,283	360	48.0	95.2%
伊勢献血ルーム	19	3,558	6,812	10,389	310	33.5	89.6%
献血ルーム 計	248	13,517	25,489	39,254	975	40.3	95.9%

総 計	248	38,092	25,489	63,829	1,534	41.6	98.5%
-----	-----	--------	--------	--------	-------	------	-------

※稼働数とは、献血バスでは市町での稼働台数、献血ルームでは開設日数を指す。

三重県の居住地別献血状況

市町名		献血者数			
		200mL	400mL	成分献血	計
桑名市		19	2,172	889	3,080
いなべ市		6	932	371	1,309
桑名郡	木曽岬町	0	62	9	71
員弁郡	東員町	4	449	151	604
三重郡	菰野町	22	835	421	1,278
	朝日町	0	221	206	427
	川越町	2	361	172	535
桑名保健所管内		53	5,032	2,219	7,304
四日市市		95	6,513	6,219	12,827
四日市市保健所管内		95	6,513	6,219	12,827
鈴鹿市		28	4,327	2,379	6,734
亀山市		1	1,083	669	1,753
鈴鹿保健所管内		29	5,410	3,048	8,487
津市		43	5,887	4,747	10,677
津保健所管内		43	5,887	4,747	10,677
松阪市		4	3,180	1,380	4,564
多気郡	多気町	0	270	229	499
	明和町	1	538	502	1,041
	大台町	0	176	67	243
松阪保健所管内		5	4,164	2,178	6,347
伊勢市		13	3,181	3,436	6,630
鳥羽市		0	328	320	648
志摩市		1	741	489	1,231
度会郡	玉城町	1	406	313	720
	度会町	0	181	140	321
	南伊勢町	0	202	144	346
	大紀町	0	101	91	192
伊勢保健所管内		15	5,140	4,933	10,088
伊賀市		1	1,793	401	2,195
名張市		0	938	130	1,068
伊賀保健所管内		1	2,731	531	3,263
尾鷲市		1	182	24	207
北牟婁郡	紀北町	0	163	43	206
尾鷲保健所管内		1	345	67	413
熊野市		0	240	11	251
南牟婁郡	御浜町	1	105	17	123
	紀宝町	0	114	19	133
熊野保健所管内		1	459	47	507
県外在住者		5	2,411	1,500	3,916
計		248	38,092	25,489	63,829

表彰

三重県献血功労者表彰式 日程：令和6年8月16日（金） 場所：三重県総合文化センター

三重県、日本赤十字社三重県支部、三重県赤十字血液センターは献血運動の一層の推進を目的に「三重県献血功労者表彰式」を開催し、献血にご功労のあった方々を表彰しています。

厚生労働大臣表彰状・・・2団体

献血運動の推進に関し、過去に厚生労働大臣感謝状の贈呈を受け、その実績が特に優秀で、他の模範と認められる団体又は個人に対し贈呈されます。

- ◆河芸ライオンズクラブ
- ◆津安芸農業協同組合

厚生労働大臣感謝状・・・2団体

献血運動の推進に関し、過去に三重県知事感謝状又はこれに準ずる表彰を受け、その実績が特に優秀で、他の模範と認められる団体又は個人に対し贈呈されます。

- ◆特定医療法人暁純会 武内病院
- ◆名張近鉄ガス株式会社

三重県知事感謝状・・・10団体 個人・・・112名

献血運動の推進に著しい功績又は血液の確保に多大な貢献があった団体又は個人に対し贈呈されます。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ◆株式会社 北村組 | ◆東海コンクリート工業株式会社 |
| ◆富士電機株式会社 三重工場 | ◆桑名市消防本部 |
| ◆住友電装株式会社 鈴鹿製作所 | ◆医療法人 富田浜病院 |
| ◆JSR株式会社 四日市工場 | ◆社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院 |
| ◆高純度シリコン株式会社 | ◆プルデンシャル生命保険株式会社 三重支社 |

日本赤十字社 社長感謝状・・・3 団体

金色有功章受章後、引き続き活動に従事し、その功績が顕著で他の模範となるものと認められる場合、当該従事年数が10年に達した都度、贈呈されます。

- ◆シンフォニアテクノロジー株式会社 伊勢製作所
- ◆SWCC株式会社 三重事業所
- ◆テイ・エス テック株式会社 鈴鹿工場

日本赤十字社有功章

金色有功章・・・2 団体 個人・・・109名

献血回数100回以上の献血者並びに献血活動継続年数20年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆NTN株式会社 三雲製作所
- ◆ボルグワナー・モールシステムズ・ジャパン株式会社

銀色有功章・・・2 団体 個人・・・165名

献血回数70回以上の献血者並びに献血活動継続年数15年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆パナソニックインダストリー株式会社 伊勢工場
パナソニックインダストリー労働組合 伊勢支部
- ◆CKD株式会社 四日市工場

日本赤十字社三重県支部 支部長感謝状

金柶・・・3 団体

過去に銀柶を受け、献血活動継続年数10年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆シャープディスプレイカラーフィルター株式会社
- ◆三重執鬼株式会社
- ◆セメダイン株式会社 三重工場

銀柶・・・5 団体

献血活動継続年数5年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆株式会社 森組
- ◆三重県信用保証協会
- ◆公益財団法人三重県建設技術センター
- ◆三重県農業共済組合
- ◆おぼろタオル株式会社

キャンペーン・イベント等

キッズ献血

三重県赤十字血液センターでは、3歳以上のお子さんとその保護者を対象とした「キッズ献血」を開催しています。

キッズ献血は実際の献血の流れを疑似体験する「まねっこ献血」を通じて、献血の大切さを知ってもらうイベントです。令和6年度は、あのつ台の新庁舎で実施しました。



ふるさと企業献血応援キャンペーン

三重県の献血を盛り上げるべく、県内の企業・団体様からご協賛をいただき、「ふるさと企業献血応援キャンペーン」を実施しています。

令和6年度も多くの企業様にご支援をいただいたことにより、多くの方に献血にご協力いただくことができました。



献血セミナー

高等学校・大学・専門学校等の学生の皆様に献血のことを身近に感じてもらうため、三重県赤十字血液センター職員による「献血セミナー」を行っています。令和6年度は県内の67校で実施しました。



～知ってる？ 献血～



三重県学生献血推進連盟 「みえっち」



学生同士の交流を図りながら、献血の理解を深め推進していくことを目的に結成されました。

献血会場やイベント会場等で学生献血推進ボランティアとして献血啓発活動を行っています。毎月1回、定例会を開催し情報交換や献血血液確保に向けて議論を交わしています。

ヤングミドナサポーター

三重県では毎年、学校等において献血啓発活動に参加していただく献血ボランティアの「ヤングミドナサポーター」を募集しています。令和6年度は 534 名の方に活動に参加いただきました。



三重県献血キャラクター
「ミドナ」



学生献血推進ボランティアによる 献血キャンペーン

若年層の献血の輪を広げ、献血協力者数の増加を図るため、学生献血推進ボランティアによる東海北陸ブロック統一キャンペーンを夏と冬の2回にわたって開催しています。

三重県赤十字血液センターは三重県学生献血推進連盟「みえっち」が主体となって行っており、季節にちなんだ記念品を作製するなど積極的に取り組んでいます。



献血基準と 検査成績のお知らせ

献血基準

健康な方であれば、献血による身体への影響はほとんどありません。

しかし、体調を崩していたり健康状態の良くない時に献血をすると、健康を損ねる場合もあります。

献血者の健康を守り、また輸血を受けられる方の安全性を高めるために、さまざまな基準を設けています。

採血の種類		全血採血		成分採血	
		200mL	400mL	血漿	血小板
1回採血量		200mL	400mL	600mL以下(循環血液量の12%以内)	
年齢	16～69歳	男性:17～69歳 女性:18～69歳		18～69歳	男性:18～69歳 女性:18～54歳
	ただし、65～69歳の方については、60歳に達した日から65歳に達した日の前日までの間に採血が行われた方に限る。				
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女50kg以上		男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上180mmHg未満				
最低血圧	50mmHg以上110mmHg未満				
脈拍	40回/分以上100回/分以下				
体温	37.5℃未満				
血色素量		男性:12.5g/dL以上 女性:12.0g/dL以上	男性:13.0g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が標準域*にある 女性:11.5g/dL以上) *標準域 MCV:81～100(fL) MCH:26～35(pg) MCHC:31～36(%)	12.0g/dL以上
血小板数		—	—	—	15万/μL以上 60万/μL以下
採血間隔	〔前回採血〕				
	200mL全血	男女とも4週間後の同じ曜日から			
	400mL全血	男性は12週間後、 女性:16週間後の同じ曜日から		男女とも8週間後の同じ曜日から	
	血漿成分	男女とも2週間後の同じ曜日から なお、血小板成分採血では、血漿を含まない場合1週間後に血小板成分献血が可能。 ただし、4週間後に4回実施した場合には次回までに4週間あける。			
	血小板成分				
年間※総採血量 (1年は52週として換算)		200mL・400mL全血を合わせて 男性 1,200mL以内 女性 800mL以内		—	—
年間※採血回数 (1年は52週として換算)		男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
共通事項		次の方からは採血しない。 ①妊娠していると認められる方、又は過去6ヵ月以内に妊娠していたと認められる方 ②採血により悪化するおそれのある循環系疾患、血液疾患その他の疾患に罹っていると認められる方 ③有熱者その他健康状態が不良であると認められる方			

※期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

検査成績のお知らせ

血液センターでは、献血にご協力いただいた方々への感謝の気持ちとして、7項目の生化学検査成績と8項目の血球計数検査成績についてお知らせしています。

献血 Web 会員サービス「ラブラッド」の会員の方は、献血後2～5日程度で Web 上で検査成績を確認できます。

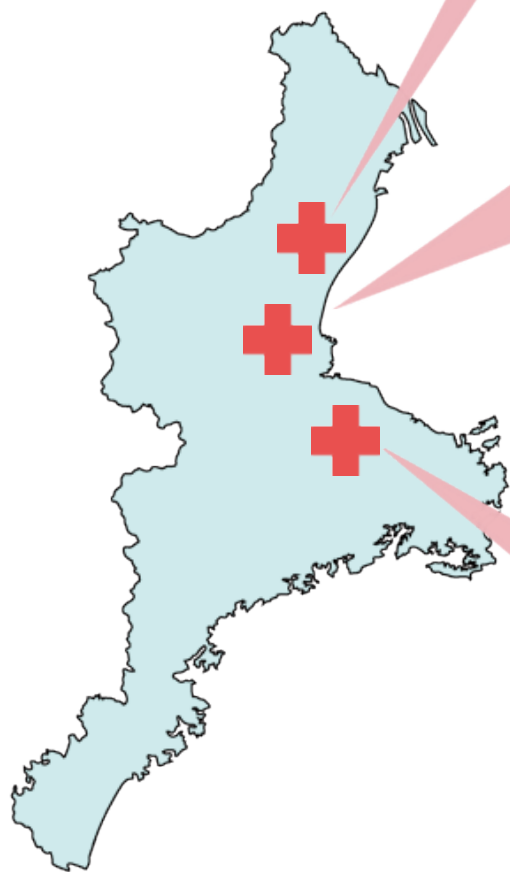
ラブラッド非会員の方で、献血受付時に郵送による通知を希望された方は、献血後1～2週間で親展にてお知らせしています。

なお、献血受付時に郵送による通知を希望された方も、ラブラッド登録後は郵送による通知は停止され、Web 上での確認方法へ自動的に切り替えさせていただいております。

生化学検査及び血球計数検査欄に記した基準値は、献血された方々の検査結果から算定したもので、正常または異常を表すものではありません。また、受付時に、B 型・C 型・E 型肝炎検査、梅毒検査、HTLV-1 抗体検査の結果通知を希望された方には、異常を認めた場合献血後1ヵ月以内に親展(書簡の郵便)にてお知らせします。

沿革

昭和 39 年 08 月	輸血用血液は、献血により確保することを閣議で決定
昭和 39 年 12 月	三重県献血推進協議会発足
昭和 40 年 01 月	伊勢市御園町 810 番地山田赤十字病院内に三重県赤十字血液センター開設
昭和 40 年 07 月	津市塔世 1090 番地 1 に移転
昭和 43 年 09 月	津市栄町 1 丁目 171 番地三重県合同ビル内に新築移転
昭和 43 年 12 月	日本赤十字社名誉副総裁 高松宮妃殿下が三重県赤十字血液センターをご視察
昭和 44 年 06 月	四日市市塩浜町 1 番地三重県立塩浜病院内に三重県赤十字血液センター四日市出張所開設
昭和 47 年 04 月	HBs 抗原 (B 型肝炎) 検査開始
昭和 51 年 08 月	三重県赤十字血液センター四日市出張所廃止
昭和 59 年 08 月	津市桜橋 2 丁目 191 番地に三重県赤十字血液センター新築移転
昭和 59 年 11 月	三重県内献血者累計 100 万人達成
昭和 61 年 10 月	AIDS 及び HTLV-1 (エイズ及び成人 T 細胞白血病) 抗体検査開始
昭和 62 年 01 月	400mL 献血及び成分献血開始
平成 元 年 12 月	HCV 抗体・HBc 抗体・HBs 抗体検査開始
平成 02 年 10 月	山田赤十字病院内に献血ルーム「ハートワン」開設
平成 04 年 09 月	赤血球 MAP の製造及び供給開始
平成 04 年 09 月	中部近鉄百貨店四日市店内に献血ルーム「サンセリテ」開設
平成 05 年 03 月	HIV-2 (エイズウイルス 2 型) 抗体検査開始
平成 05 年 11 月	三重県内献血者累計 200 万人達成
平成 06 年 07 月	日本赤十字社名誉副総裁 皇太子同妃両殿下が三重県赤十字血液センターをご視察
平成 06 年 07 月	第 30 回献血運動推進全国大会が三重県で開催
平成 07 年 04 月	赤血球 MAP の有効期間を「採血後 42 日間」から「採血後 21 日間」へ短縮
平成 08 年 09 月	血液検査用検体の凍結保存を開始
平成 09 年 08 月	三重県献血キャラクター 愛称「ミドナ」発表
平成 09 年 08 月	ヒトパルボウイルス B-19 検査開始
平成 10 年 06 月	放射線照射血液製剤の供給開始
平成 11 年 04 月	献血年齢の上限が条件付きで 64 歳から 69 歳に引き上げ
平成 11 年 10 月	ウイルス (HBV、HIV、HCV) を直接検出する核酸増幅 (NAT) 検査開始
平成 11 年 11 月	HTLV-1 抗体検査陽性者へ結果通知を開始 (通知希望者のみ)
平成 14 年 07 月	近鉄四日市駅前スターアイランド 4 階に献血ルーム「サンセリテ」移転
平成 15 年 04 月	HBc 抗体検査陽性者への結果通知を開始 (通知希望者のみ)
平成 15 年 06 月	血液製剤遡及調査開始
平成 15 年 07 月	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が施行
平成 15 年 08 月	血液製剤受注管理システム導入
平成 16 年 10 月	検査目的の献血防止対策の一環として献血受付時の本人確認の実施
平成 16 年 10 月	血小板血液製剤の白血球除去を開始
平成 17 年 08 月	6 ヶ月間以上貯留保管した新鮮凍結血漿を供給開始
平成 18 年 03 月	成分献血由来の新鮮凍結血漿血液製剤の白血球除去を開始
平成 18 年 06 月	三重県内献血者累計 300 万人達成
平成 18 年 10 月	献血者健康被害救済制度を開始
平成 19 年 01 月	初流血除去対応採血キットの導入
平成 19 年 01 月	全血採血由来保存前白血球除去キットの導入
平成 19 年 05 月	検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約化
平成 19 年 11 月	血小板血液製剤の有効期間が 72 時間から 4 日間に延長
平成 20 年 04 月	感染症検査を CLA 法に変更
平成 21 年 03 月	糖尿病関連検査 (グリコアルブミン検査) のサービス通知開始
平成 21 年 04 月	製剤部門を愛知県赤十字血液センターに集約化
平成 23 年 04 月	男性のみ 400mL 献血可能年齢を 18 歳から 17 歳に引き下げ
平成 23 年 04 月	男性のみ血小板献血可能年齢を 54 歳から 69 歳に引き上げ
平成 24 年 02 月	ミタス伊勢に献血ルーム「ハートワン」移転
平成 24 年 04 月	日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター事業開始 (広域体制化による検査製造等集約化)
平成 24 年 10 月	シャーガス病に対する安全対策の実施開始
平成 25 年 01 月	「献血の同意説明書」を配布し、同意有無の確認を開始
平成 26 年 08 月	個別検体による NAT (個別 NAT) スクリーニングを導入
平成 27 年 01 月	三重県赤十字血液センター開設 50 周年
平成 29 年 02 月	献血ルーム「ハートワン」5 周年記念式典を実施
平成 29 年 02 月	イオンモール東員にて日本赤十字社献血推進プロジェクト LOVE in Action 「ご当地大作戦 in 三重」の開催
平成 29 年 03 月	成分採血の血漿採取量の上限を 600mL 以下に変更
令和 02 年 02 月	ララスクエア (現: トナリエ) 四日市 5 階に献血ルーム「サンセリテ」移転
令和 04 年 02 月	献血ルームを含め全ての施設で全血採血の採血前検査を指先穿刺に変更
令和 05 年 03 月	赤血球製剤の有効期間を「採血後 21 日間」から「採血後 28 日間」に延長
令和 06 年 04 月	津市あかつき 4 丁目 8 番 5 に三重県赤十字血液センター新築移転



四日市献血ルーム「サンセリテ」

〒510-0075 三重県四日市市安島 1-3-31
トナリエ四日市5階
TEL 059-355-5863
0120-39-5863

【受付時間】《全血》10:00～11:45/13:00～17:30
《成分》10:00～11:00/13:00～17:00

【定休日】年末年始

【交通】近鉄四日市駅から徒歩約5分

【駐車場】有（トナリエ四日市駐車場をご利用ください）



三重県赤十字血液センター

〒514-0131 三重県津市あかつ台4丁目8番地5
TEL 059-273-6702
0120-05-5632

【受付時間】《全血》9:00～11:45/13:00～16:30
《成分》9:00～11:00/13:00～16:00

【定休日】火曜、年末年始

【交通】JR・近鉄津駅から三交バスで約25分

【駐車場】有（敷地内駐車場をご利用ください）



伊勢献血ルーム「ハートワン」

〒516-0008 三重県伊勢市船江 1-471-1
ミタス伊勢内
TEL 0596-25-7821
0120-25-7821

【受付時間】《全血》10:00～11:45/13:00～17:30
《成分》10:00～11:00/13:00～17:00

【定休日】金曜、年末年始

【交通】JR・近鉄伊勢駅から徒歩約15分

【駐車場】有（ミタス伊勢内の駐車場をご利用ください）



情報発信

三重県赤十字血液センターホームページ

キャンペーンのお知らせや、献血ルーム・献血バス会場のご案内、献血についての知識等、幅広い内容で情報発信を行っています。

パソコンやスマートフォンからのアクセスで手軽にご覧いただけます。

◆ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/mie/>



公式Facebook・X・LINE・Instagram

キャンペーン・イベントの情報や献血に関する情報をリアルタイムにお伝えしています。



献血Web会員サービス「ラブラッド」

ご登録いただくと、簡単に献血の予約ができるようになり、血液の検査結果もいち早くわかるようになります。

また、全国共通のポイント制度によって、20ポイントで記念品と交換できるほか、住所変更等のお手続きも行うことが可能です。

※献血カードの代わりにもなります。

◆ご登録はこちらから（Web版）
<https://www.kenketsu.jp/>

